

校長室だより
NO. 40
平成30年11月26日

すべては光る

梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

チャレンジを目指した梅園プライドフェスティバル

11月22日（木）に「梅園プライドフェスティバル」を開催しました。これは、2年前に行った「梅園百歳フェスティバル」がきっかけとなり、そのときに、「このような楽しい会を年に1度は行ったらどうか」という声をいただき、昨年度、開催内容を検討して始めたものです。

内容としては、子どもの学びの要素となるものとして、1・2の生活科、3～6年の総合的な学習の成果の発表という形を取り、各学年の「チャレンジ」を目指すテーマとしました。また、6年生の子どもたちが全校の子どもたちをリードする気持ちを育てたいということから、6年生の実行委員が中心になって会の企画・運営をしました。さらに、お楽しみということで、PTA役員、父親協力隊、保護者ボランティアの多くの方々のお力を借りて

「もちつき」体験もできました。今年度も全校の子ども一人一人が杵を持ってもちをつけるように、石臼を準備することができるなどの多方面からのご協力をいただきました。

次が、その1日の日程です。とても楽しい活動が見られる1日となりました。

◎ 開会行事

○実行委員長 の言葉 ○テーマソング合唱

○日程説明（

◎ 活動発表とブース見学、もちつき

時間帯を5区分して、各学級・学年の発表と見学、もちつき体験を分けて実施しました。

【1年】 あぎであそぼう

どんぐりやまつぼっくりを使った遊びを考えて楽しみました。稲熊保育園や梅園こども園の子どもたちを招き、活動を通じた交流もしました。（作ったおもちゃ）どんぐりごま・まつぼっくりけん玉、くっつき虫的当てなど。

【2年】 梅園学区のおたからをさがし出せ にんニン

お店を調べたり、お店の人にインタビューをしたりした学区探検の発表をしました。その中で、学区のお店を紹介したり、お店の秘密について発表したりしました。

（学区探検場所）楠名石材店・松井ろうそく店・花一生花店・十王公園など。

【3年】 梅園学区をじまんしよう

学区探検の中で、お祭りを調べ発表しました。学芸会でも、お祭りをテーマにし



全校一人一人が体験したもちつき



秋遊びを園児に教える1年生



学区のおたからを発表する2年生

た学年音楽に取り組みましたので、お祭りの内容やお祭りで使う道具を説明したり、お祭り体験ができるようにしました。おみこしをかついだり、お祭りにちなんだ遊びを行ったりしました。

【4年】 みんなももとう ぼうさいの心え

起震車体験で感じた地震の怖さ、消防署の職員について調べ、そのかわりを深めた学習等を発表しました。中消防署の消防士調べ、南海トラフ地震避難所体験、ハザードマップ、学区の危険個所を描いたかるたを発表しました。

【5年】 知ろう！さがそう！梅園ツリー

山の学習で自然に触れ、その後、学校に目を向けることで学校の自然に対して意識を高めてきました。梅園の木々を調べ、ツリーラリーを行ったり、宝さがしをしたり、梅園の木クイズ王大会やフラッグクイズをしたりしました。

【6年】 めしあがれ 梅みそ料理

1年生とのペア交流で梅取りをしました。その梅を使った梅料理について考えたり、料理を工夫できないか話し合ったりしてきたものを発表しました。(作った梅料理) 梅パンケーキ、梅あめ、梅アイス、梅五平餅。



新作梅料理を発表した6年生

【特別支援学級】 牛乳パックの行方は？

学校給食で毎日飲んでいる牛乳のパックが、その後、どこへ行っているか、また、どのように再利用されているかを調べて発表しました。牛乳パックで実際に紙をすいてできたりサイクル紙も披露しました。

◎ ものしりクイズ王決定戦

梅園小・梅園学区にかかわる問題を学級対抗で答える「ものしりクイズ王決定戦」を体育館で全校公開で行いました。これまで学年の予選を勝ち抜いた代表学級が準決勝、決勝を競い合いました。都築宥君、古田莉子さんの息の合った司会で全校が盛り上がりました。優勝は、決定戦までもつれて5年4組が勝ち取り、1学期からの連覇を果たしました。全校で楽しく学ぶことを共有できたひとときとなりました。次がその戦績です。



連覇を果たした5年4組の代表

〔準決勝1〕◇4の2 1の4 ◇3の4 6~10組 〔準決勝2〕◇5の4 2の2 ◇6の1 先生
〔決勝〕○4の2 3の4 ◎5の4 6の1 (※ ◎:優勝 ○:準優勝 ◇:決勝進出)

◎ 閉会行事

○実行副委員長 の活動の振り返り

○ものしりクイズ王決定戦の表彰 ○校長の言葉

今回も子どもの生き生きとした学習成果の発表が見られ、その意義を大いに感じました。課題はあるものの、来年度へつなげる要素は持っているのとらえています。なお、保護者の方々の多大なるご協力とご来校に感謝しています。



フェスティバルを企画・運営した6年生の実行委員

○ 実行委員長（ ）のことば

今日は、みんなが楽しみにしていた「梅園プライドフェスティバル」です。みんなは、昨年の11月23日に行われた「梅園プライドフェスティバル」を覚えていますか。わたしが、忘れられないのが「梅っ子ものしりクイズ王決定戦」です。

そして、わたしたち6年生の実行委員を中心として、フェスティバルを今年もやることができたことは、とてもうれしいです。

今年は、総合学習や生活科の勉強で、学区や学校の知らないことをみんなに伝えたい、よくしたいという思いで、各学年や学級でいろいろなことに取り組んできました。それを発表したり、展示したり、楽しいゲームを行ったりします。また、去年行った餅つきもあります。さらに、予選を勝ち抜いてきた各学年の代表チームが争う「梅っ子ものしりクイズ王決定戦」もあります。

今日1日一人一人が梅園小学校がすてきな学校になっていくように、勉強したり、友達や先生と楽しんだりする1日にしましょう。今年も「梅園を敬い 梅園を愛し 梅園を信じる」を忘れずに、楽しい思い出をいっぱい作りましょう。

実行委員長 6年4組

○ 実行副委員長（ ）の活動の振り返り

今日、行った「梅園プライドフェスティバル」はどうでしたか。どんな感想を持ちましたか。フェスティバルから何を学びましたか。ぼくは、このフェスティバル実行委員としての仕事とともに、クラスのみかんなど「梅え～アイス」を作りました。水の量をどうするか、トッピングで何をのせるかなどについて、何度も話し合いました。アイスを配ったときに、「おいしかった」「おかわりがほしい」などの言葉をもらって、がんばって作ったかいがあったなあと思いました。

みんなも各学年や学級のブースでいろいろな発表を行ったり。ゲームを考えたり、よく頑張ってくれたと思います。「梅っ子ものしりクイズ王決定戦」もすごく盛り上がりました。それは一人一人が「この梅園小をもっといい学校にしたい」という気持ちで、このフェスティバルに参加できたからだと思います。ぼくは、おととしの「梅園百歳フェスティバル」のテーマ「梅園を敬い 梅園を愛し 梅園を信じる」という思いを、今年も受け継ぐことができたと思います。今回のフェスティバルで餅つきなどで協力をいただいたPTAの方々や学区の方々に感謝したいと思います。ありがとうございました。

実行副委員長 6年3組

2018年(平成30年)11月23日(金曜日)

学年別に成果発表



オリジナルの梅料理を振る舞う
児童ら＝岡崎市梅園小学校で

岡崎市 梅園小 プライドフェスティバル

岡崎市梅園小学校での現在地移転と校名変更を記念して、今年も学年別に特色ある学習テーマが設けられ、児童らはクラフトフェスティバルが好評だったことか

も予定されていたが、雨により会場を屋内のみに変更。校内でこれる梅の実を使った料理をテーマとした六年生は、手作りの梅ジャムを乗せたパンケーキやアイスクリーム、梅の果肉と味噌を合わせた五平餅、梅本来の味をを生かしたあめなどを提供。調理だけでなく、教室の前に並ぶ他学年の児童や保護者を案内したり、宣伝用の看板を手に呼び込みをしたりして、一人でも多くの人に味わってもらおうと奮闘した。

梅料理のほかにも、祭りをテーマとした屋台コーナー、秋の植物を使った多彩な遊びでもてなす「あきであそぼう」、地域学習の成果発表、全校参加によるクイズ大会などもあった。(大山智也)